

# 7800 シリーズ Q7800A、B - 22 端子式ユニバーサル配線サブベース

製品データ



## 特徴

- すべての 7800 シリーズのリレー・モジュール及び S7830A 拡張型アナンシエータに使用可能な簡単取付の配線サブベース
- リレー・モジュールの据付前に制御システムの配線が可能
- パネル取付 (Q7800A) あるいはバーナー及び壁面取付 (Q7800B) が可能
- 電氣的測定のためのアクセス・スロットを提供
- NEMA 1 容器
- Q7800B には電氣的測定のためのアクセス・スロットのカバーが付属品で付いており、Q7800A ではオプションで利用可能。

## 用途

Q7800A、B は、7800 シリーズのリレー・モジュール及び拡張型アナンシエータ (S7830A) 用のユニバーサル配線サブベースで、フィールド (外付け機器) の配線のための端子を提供します。7800 シリーズのリレー・モジュールあるいは S7830A のナイフ・ブレード端子が Q7800 の分岐接点と結合し、電氣的に接続します。

パネルに取り付ける場合、Q7800A1005 (2 面) サブベースがご利用いただけます。バーナーあるいは壁面に取り付ける場合、Q7800B1003 及び Q7800B1011 (4 面) サブベースがご利用いただけます。背面及びトップとボトムにコンジット接続用のノックアウトが付いています。

目次 :

用途 .....	1
ご注文に関する情報 .....	2
据付 .....	4
配線 .....	5
要確認 .....	6



65-0084J-01

## 仕様

### 重量：

Q7800A：7 オンス (約 198 グラム)  
Q7800B：1 ポンド 3 オンス (約 540 グラム)

### 寸法：

図 1、2 及び 3 を参照。

### 容器：

NEMA 1

### 端子ねじのトルク：

通常 12 インチポンド (1.36 Nm)、最大 13 インチポンド (1.47 Nm)

### 承認：

UL 部品登録状況：登録済み。ファイル No. MP268、ガイド No. MCCZ2 (Q7800A)

UL リスティング認証取得済み：ファイル No. MP268、ガイド No. MCCZ (Q7800B)

CS 規格承認済み：登録 No. LR95329-3

EN60730 規格承認を得るためには、Q7800 サブベースを IP40 クラスの保護基準に合致する堅牢なパネルに取り付けること。

### アクセサリ：

221779 電氣的測定のためのアクセス・スロットのカバー (Q7800B では付属品、Q7800A ではオプション)

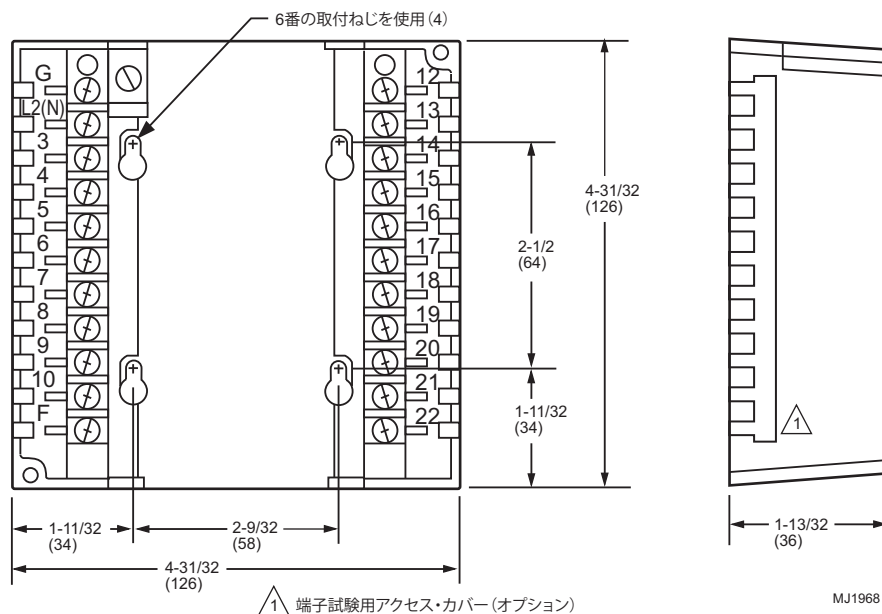


図 1. Q7800A1005 配線ベース (2 面) のインチ単位 (ミリ単位) の平面図及び正面図

## ご注文に関する情報

貴地の TRADELINE® 代理店から交換製品や新製品を購入するときは、TRADELIN® カタログや価格表で注文する製品の型番を確認してください。

ご質問や、さらに詳しい情報が必要な場合、あるいは当社製品へのご意見がある場合は、郵便または電話で下記までご連絡ください。

1. 貴地のハニウェル代理店 (電話番号は電話帳で御調べください)
2. Honeywell Customer Care  
1885 Douglas Drive North  
Minneapolis, Minnesota 55422-4386

カナダ - Honeywell Limited/Honeywell Limitée, 35 Dynamic Drive, Toronto, Ontario M1V 4Z9.

世界各地のセールスおよびサービスオフィス。製造拠点はオーストラリア、カナダ、フィンランド、フランス、ドイツ、日本、メキシコ、オランダ、スペイン、台湾、イギリス、アメリカにあります。

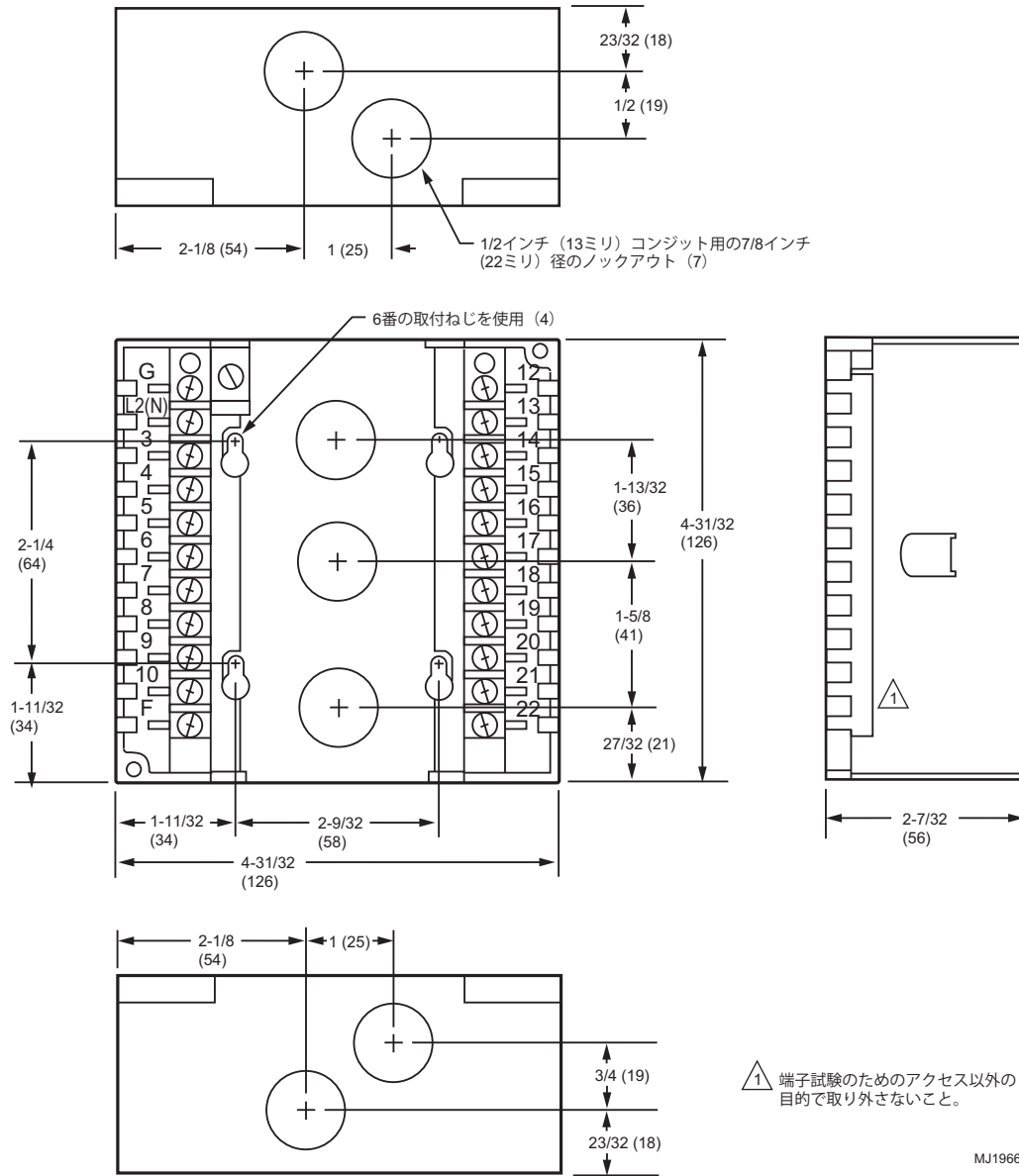


図 2. Q7800B1003 配線ベース (4 面) のインチ単位 (ミリ単位) の平面図及び正面図

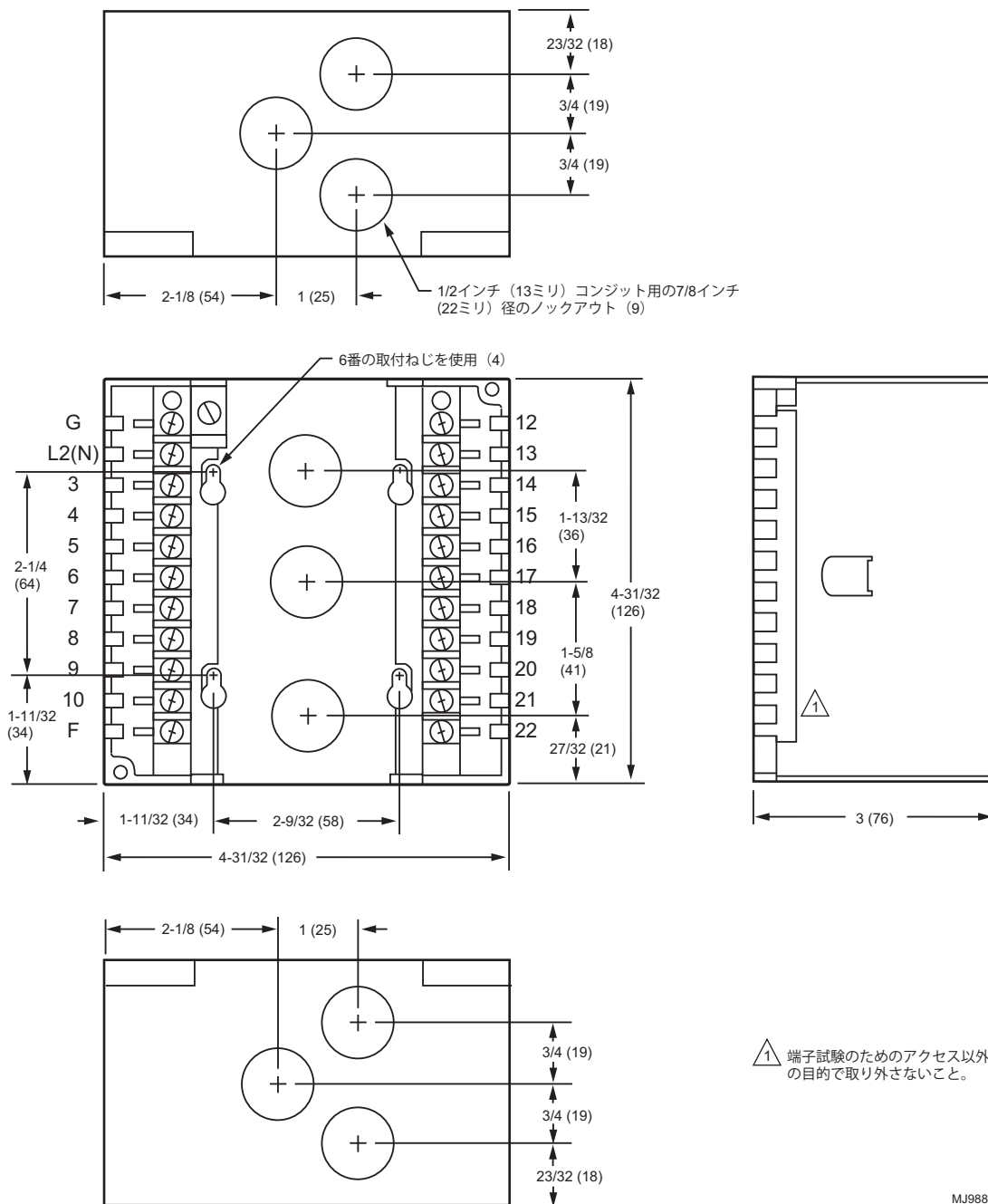


図 3. Q7800B1011 配線ベース (4 面) のインチ単位 (ミリ単位) の平面図及び正面図

## 据付

### 本製品を据え付けるには ...

1. 本取扱説明書をよく読んでください。指示に従わないと製品が破損したり、あるいは危険が生じたりします。
2. 取扱説明書及び製品に示されたそれぞれの定格をチェックし、製品が用途に合致していることを確認してください。
3. 据付担当者は、訓練を受けた、経験のある火災安全サービス技師であること。
4. 感電及び設備の損傷を避けるため、据付の前に電源を切ってください。複数個所の電源を切ることが必要になる場合があります。
5. すべての配線工事は、適用されるべき現地の電気工事規定、条例及び規則に準拠して実施すること。
6. 配線はすべて NEC クラス 1 (線間電圧) であること。
7. 据付が完了した後、本取扱説明書に従って製品の動作を確認してください。

## 警告

### 感電の危険性

重傷、死亡、設備の損傷の恐れがあります。

感電及び設備の損傷を避けるため、据付の前に電源を切ってください。複数個所の電源を切ることが必要になる場合があります。

機器メーカーの取扱説明書がある場合、それに従ってください。取扱説明書がない場合、以下の指示に従ってください。

## 取付

注意事項: 据付寸法については、図 1 及び図 2 を参照のこと。

1. 使用する 7800 シリーズのリレー・モジュール及び S7830A の周囲温度定格内の場所にサブベースを設置します。該当する取扱説明書を参照してください。
2. サブベースを分岐接点を下向きにして水平方向以外の位置に取り付けます。標準の垂直方向の設置を推奨します。
3. 壁面、バーナーあるいは電気パネルの中から設置場所を選択します。あるいは、Q7800 をコントロール・キャビネットに直接取り付けます。7800 シリーズのリレー・モジュール、S7830A、キーボード・ディスプレイ・モジュール、運転 / 試験スイッチ、火災増幅器の信号電圧測定子、電気信号電圧測定子及びフィールド（外付け機器）の電気接続に関する修理、据付、アクセスあるいは取外しのための適切なクリアランスを確保すること。

### 重要

サブベースを分岐接点を下向きにして水平方向に取り付けないでください。

4. 表面取付においては、サブベースの背面を 4 つのねじ位置をマークするテンプレートとして使用してください。4 つの穴をあけます。
5. 6 番の取付ねじを 4 本を挿入し、しっかり締めます。

## 配線

1. 正確なサブベース配線を実施するため、機器メーカーの配線情報及び該当する 7800 シリーズのリレー・モジュールあるいは S7830A の仕様書を参照します。
2. 必要に応じて、過負荷防止及び切断手段を用意します。感電及び設備の損傷を避けるため、据付の前に電源を切ってください。複数個所の電源を切ることが必要になる場合があります。
3. すべての配線工事は、適用されるべき電気工事規定、条例及び規則に準拠して実施すること。NEC クラス 1（線間電圧）の配線を使用してください。
4. 推奨するワイヤの寸法及び種類は、線間電圧のあるすべての端子について、2 本までの 14、16 あるいは 18 番の銅導体 TTW60C、THW 75C あるいは THNN90C、600 ボルト絶縁線です。高温据付については、上記最大動作温度を上回る温度定格を持つワイヤを選択してください。火災検出器のリード線は、耐蒸気性であること。
  - a. 点火リード線については、ハネウェル仕様番号 R1061012 点火ケーブルあるいは同等品を使用してください。（本リード線の定格は、継続使用で

350° F (177° C)、断続使用で 500° F (260° C) までです。本リード線は、25,000 ボルトまで試験済みです。）

- b. 火災検出器のリード線については、ハネウェル仕様番号 R1298020 あるいは同等品を使用してください。（本リード線の定格は、継続使用で 400° F (204° C) までです。本リード線は、動作については 600 ボルトまで、ブレイクダウンについては 7500 ボルトまで試験されています。）
  - c. 汚染環境における点火リード線設置については、ハネウェル仕様番号 R1239001 高圧点火ケーブルあるいは同等品を使用してください。（本リード線は、油、熱及びコロナによる過酷な条件に耐える設計となっており、ブレイクダウンなしに 1 分間塩浴において 25,000 Vrms までの高電圧に耐える試験を受けています。本リード線の定格は、継続使用で 200° F (93° C)、断続使用で 350° F (177° C) までです。）
5. 推奨する接地仕様：
    - a. 7800 シリーズのリレー・モジュールあるいは S7830A は、それぞれ接地端子 G を持つこととなりますが、接地端子 G は、実際に可能な範囲で極力短くしたワイヤで金属の制御盤に必ず接地してください。各接地ワイヤは、保護ヒューズ（最大 15 アンペア、SC タイプあるいは同等品、速断ヒューズ）の定格に該当する事故電流を運搬する能力があること。14 番銅導体が適切。
    - b. 接地によりサブベースと制御盤あるいは機器との間に接続が生じます。内部回路でショートが発生した場合、接地ワイヤは、最大 15 アンペアの SC タイプあるいは同等品の速断ヒューズ（あるいは遮断器）を切断する電流を運搬する能力を持つこと。7800 シリーズのリレー・モジュールは機器フレームへの低インピーダンス接地接続が必要であり、一方、機器フレームは接地への低インピーダンス接続を必要としています。接地経路が無線周波数において低インピーダンスであるためには、最大の表面積を持つ最短の導体で接続すること。リード線よりワイド・ストラップあるいはブラケットの方が望ましいでしょう。パイプあるいはコンジットのねじ部分あるいはファスナで固定された表面部分等の接地経路に沿って機械的に固定した結合部に、絶縁性コーティングが施されていないこと、又、結合部が腐食保護された合わせ面を保有していること。
  6. 火災検出器リード線の推奨配線経路：
    - a. 火災検出器の配線と同じコンジットに高圧点火変圧器の配線を通さないでください。
    - b. スキャナ配線を線間電圧のある回路と同じコンジットに通さないでください。
    - c. 金属ケーブルあるいはコンジットに無外装ケーブルのスキャナ配線を封入します。
    - d. 火災検出器の取扱説明書の指示に従います。
  7. 火災検出器リード線の最大長は、火災信号の強度によって限定されます。
  8. 負荷が端子定格を超えないようにします。7800 シリーズのリレー・モジュール / S7830A のラベル、あるいは 7800 シリーズのリレー・モジュール / S7830A の仕様書を参照します。
  9. 電源回路をチェックしてください。電圧及び周波数公差は、7800 シリーズのリレー・モジュールあるいは S7830A の公差と合致すること。7800 シリーズのリレー・モジュールあるいは S7830A を、高負荷のオン / オフ切替時に起こるような線間電圧のバラツキのある電源回路に接続しないでください。7800 シリーズのリレー・モジュールあるいは S7830A には電源回路が別途必要になるかもしれません。必要な切断手段及び過負荷防止を加えてください。

10. 7800 シリーズのリレー・モジュールあるいは S7830A をサブベースに据え付ける前に、7800 シリーズのリレー・モジュールあるいは S7830A の仕様書に従って、すべての配線回路をチェックし、静的確認を完了してください。
11. 7800 シリーズのリレー・モジュールあるいは S7830A を据え付けます。
12. パネルへの電源を復旧します。

**重要**

火炎検出器の配線と同じコンジットに高圧点火変圧器の配線を通さないでください。

**重要**

サブベースの配線が端子台から突き出ることのないようにしてください。ナイフ・ブレード端子あるいは分岐接点と干渉することがないように配線をサブベースの背面に押し込んでください。

## 要確認

据付の後、抜けのないシステム確認を実施してください。機器メーカーの情報及び 7800 シリーズのリレー・モジュールあるいは S7830A の取扱説明書に従ってください。

サービスノート：

Q7800A、B の側面に付いている電氣的測定のためのアクセス・スロットを使用することにより電圧をチェックすることができます。

電圧チェックの前に、Q7800B の電氣的測定のためのアクセス・スロットのカバーを取り外します。

## 警告

感電の危険性

重傷、死亡、設備の損傷の恐れがあります。

感電の危険性を取り除くため、Q7800B の電氣的測定のためのアクセス・スロットのカバーを、電圧チェックの後、あるいはそれらを移動させた場合はいつでも交換するようにしてください。



オートメーションとコントロールのソリューション

Honeywell International Inc.

1985 Douglas Drive North

Golden Valley, MN 55422

Honeywell Limited-Honeywell Limitée

35 Dynamic Drive

Toronto, Ontario M1V 4Z9

[customer.honeywell.com](http://customer.honeywell.com)

• 米国登録商標  
© 2010 Honeywell International Inc.  
65-0084J-01 M.S. Rev. 11-10  
Printed in U.S.A.

**Honeywell**